

# “脳卒中で麻痺した手のリハビリ治療”のご案内

**「この手をもう一度動かしたい！」**当院のリハビリテーション科がお手伝いします。

健常な人は、自分の手や足を動かしたい時に「動け」という指令が脳から出され、電気信号となって神経を伝わり筋肉を動かすことができます。

しかし、脳出血や脳梗塞などにより脳に障害を受けた場合、脳からの電気信号を伝える神経も障害を受けることとなります。これが脳卒中で手足が麻痺する一因となっています。

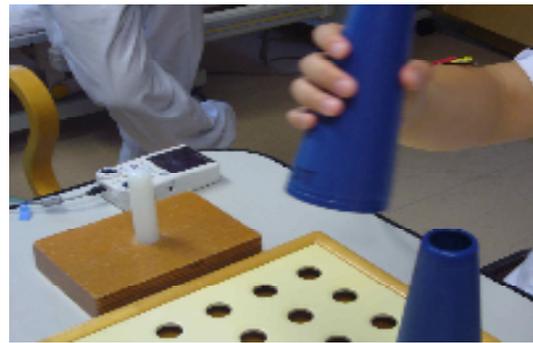
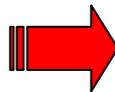
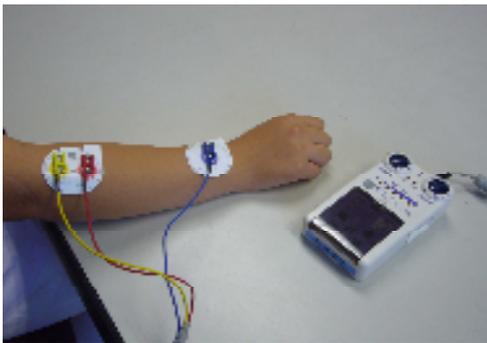
そこで最近注目されているのが筋電制御電気刺激装置（通称IVES：アイビス）といわれる装置です。IVES（アイビス）は脳からの弱くなった電気信号を増幅して筋肉に刺激を与え、運動を補助します。これにより、「コップをつかむ・はなす」といった日常生活に応じた訓練が行えます。

## 「リハビリ治療が行える人」

治療に際しては、

- ① 筋肉への電気刺激がある、②麻痺が比較的軽い、③発症からあまり時間がたっていないこと。が条件となります。

なお、筋萎縮の回復が見込まれない人、または植え込み型除細動器使用している人は治療（使用）できない場合があります。



## IVES(アイビス)訓練の様子

当院のリハビリテーション科では平成23年3月からPASシステム（IVES：アイビス）をリハビリに取り入れて積極的に施行しておりますので、ご希望される方は医療福祉相談室までお問い合わせ下さい。

連絡先：独立行政法人国立病院機構 東埼玉病院 医療福祉相談室

住所：埼玉県蓮田市黒浜4147

電話：048-768-1161（内線：245）